

母校とわたし

昭和学院高校 ▼▼②

全国レベルのバトン部を
コーチとして指導している
のが、79年卒業の田中より
子さん(45)。82年の第3回
世界バトントワリング選手
権大会チームの部で3位を
獲得したバトンの第一人者
だ。現在は、コーチをしな
がら「田中よりこバトンス
タジオ」を経営し、バトン
の普及と育成を手がけてい
る。

いた。まじめでしんの強い
子だった」と振り返る。

小学校から短大まで「昭
和学院」だった。バトンに
興味を持ったのは10歳ご
ろ。「バトンが欲しい」と
親にねだったことを覚えて
いる。小学6年で始め、卒
業までバトン部で汗を流し
た。

中学3年の時、父を病氣
で亡くした。感受性の強い

練習に没頭の3年

バトンコーチ

田中より子さん(45)

軽やかにバトンを操る田中さん
＝市川市宮久保1の自宅で



都内のバトンスタジオに通
って腕を磨いた。「高校

時代はバトンしていた記
憶しかないですね」と笑
う。

転機は高校3年で訪れ
た。バトンスタジオから出
場した78年度全日本バトン
トワリングソロコンテス

ト。「私も出してもらえ
るんだ、という軽い気持ち
で臨んだ。結果は次点で予

キャッチする大技が決め手
となった。現在スピンは6
回が最高記録だが、当時は
4回が最高だった。このと
き、久松氏は名古屋市の会
場まで家族で応援に駆けつ
けている。「大学に入って
からも同じ活動続ける生
徒は少ない。中学校3年間
担任して、高校に入ってから
もバトンを続ける様を見
守っていた。自然と応援し
たい気持ちになった」と話
す。

高校卒業後、実績を買わ
れ、短大生だった79年から
高校のバトン部で指導。2
年。後には全国大会出場に導
くなど、現在のバトン部躍
進の立役者となった。

【中川聡子】